



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西村 哲 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,806	0.9	7	△73.4	△20	—	△30	—
24年3月期第1四半期	3,774	0.9	29	△76.3	4	△96.2	△0	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △71百万円(—%) 24年3月期第1四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△5.03	—
24年3月期第1四半期	△0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	20,238	6,972	33.9	1,144.22
24年3月期	18,860	7,118	37.2	1,167.92

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,868百万円 24年3月期 7,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.25	—	12.25	24.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	12.25	—	12.25	24.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,360	7.6	250	66.1	150	44.4	50	—	8.33
通期	17,720	9.0	510	41.0	290	57.2	120	—	19.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	6,006,373株	24年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,446株	24年3月期	3,446株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	6,002,927株	24年3月期1Q	6,003,055株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復の兆しがあるものの、欧州の債務危機問題や中国経済の成長鈍化等の影響、更には円高・株安の進行により企業業績の下振れが懸念される等、依然として予断を許さない状況が続いております。

物流業界におきましても、世界経済の拡大スピードが鈍化していることに加え、円高等による製造業の海外への生産移転及び物流企業間における競争激化等、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社は、国際物流分野及び3PL分野を中心に、既存顧客への営業強化等受注確保に努めた結果、取扱額は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。また、新規顧客獲得及び倉庫の効率的運用に努め、倉庫の収益性が改善しつつあること等収益の回復傾向が見えてきており、当社では四半期純利益を確保いたしました。今後更なる改善に努めてまいります。

しかしながら、国内外連結子会社においては厳しい事業環境が続いており、国内連結子会社においては、主要顧客の生産が大幅な減少をしたことに伴い、売上高、利益が大きく減少いたしました。また、中国連結子会社においては、主要顧客の東日本大震災及びタイの洪水被害の影響による生産減少は回復しつつあるものの、新規事業の顧客獲得に係る先行投資等により、利益が大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38億6百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益7百万円(前年同期比73.4%減)、経常損失20百万円(前年同期は経常利益4百万円)、四半期純損失30百万円(前年同期は四半期純損失0百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

国際物流分野における海上貨物及びその他貨物の取扱額が増加したものの、医療機器関連の3PL分野の取扱額は減少いたしました。また、移動体通信機器の取扱額が減少したほか、無線通信機器の取扱額も減少いたしました。

国内外の連結子会社におきましては、主要顧客の生産が大幅に減少したことや、新規事業の顧客獲得に係る先行投資等が売上高及び利益に影響いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高27億90百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益(営業利益)1億24百万円(前年同期比33.8%減)となりました。

② 運輸事業部門

医療機器関連の3PL分野が大幅に増加したほか、国際物流分野における航空貨物、その他貨物の取扱額も堅調に推移いたしました。しかしながら、移動体通信機器の取扱額が減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高5億95百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益(営業利益)19百万円(前年同期比115.8%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

国際物流分野における海上貨物の取扱額が大幅に増加したほか、医療機器関連の3PL分野の取扱額も堅調に推移いたしました。また、国内貨物の取扱額におきましても概ね順調に推移いたしました。国際物流分野の航空貨物におきましては、取扱額が減少したものの、新規顧客の獲得及び効率的運用に努め、収益性が改善しつつあります。

この結果、当該部門の業績は、売上高3億15百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)1百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)32百万円)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億4百万円(前年同期比0.0%)、セグメント利益(営業利益)66百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産202億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億78百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、60億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加2億19百万円、受取手形及び売掛金の減少1億79百万円及び繰延税金資産の増加36百万円等によるものであります。

固定資産につきましては、142億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億38百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少24百万円、リース資産の減少53百万円及び建設仮勘定の増加14億58百万円によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、132億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億24百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、38億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少88百万円、短期借入金の減少36百万円及び賞与引当金の減少43百万円等によるものであります。

固定負債につきましては、94億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億50百万円増加いたしました。これは主に、社債の減少35百万円、長期借入金の増加15億50百万円、リース債務の減少50百万円及び金利スワップの増加83百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、69億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少1億3百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.2%から33.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の業績予想から変更はありません。また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,634,758	1,854,436
受取手形及び売掛金	3,668,123	3,488,917
商品及び製品	49,280	58,741
原材料及び貯蔵品	116,397	113,780
繰延税金資産	260,218	297,021
その他	254,444	209,194
貸倒引当金	△2,100	△1,400
流動資産合計	5,981,123	6,020,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,738,576	5,714,261
機械装置及び運搬具(純額)	96,608	92,542
土地	1,046,050	1,046,050
リース資産(純額)	2,836,193	2,782,379
建設仮勘定	972,000	2,430,000
その他(純額)	42,718	40,146
有形固定資産合計	10,732,147	12,105,380
無形固定資産		
リース資産	1,872	1,628
ソフトウェア	158,508	156,160
その他	6,677	6,623
無形固定資産合計	167,058	164,411
投資その他の資産		
投資有価証券	299,968	275,584
繰延税金資産	831,804	825,491
その他	849,047	847,335
貸倒引当金	△296	—
投資その他の資産合計	1,980,523	1,948,411
固定資産合計	12,879,729	14,218,204
資産合計	18,860,853	20,238,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,148,615	1,060,394
短期借入金	1,553,423	1,517,394
1年内償還予定の社債	112,000	112,000
リース債務	199,320	200,294
賞与引当金	149,334	106,327
その他	674,018	813,836
流動負債合計	3,836,712	3,810,247
固定負債		
社債	443,000	408,000
長期借入金	2,807,855	4,358,821
リース債務	2,691,003	2,640,477
退職給付引当金	537,826	545,378
資産除去債務	380,244	382,244
長期預り金	973,999	966,435
金利スワップ	71,936	155,266
固定負債合計	7,905,866	9,456,622
負債合計	11,742,578	13,266,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,271,118	2,167,359
自己株式	△2,954	△2,954
株主資本合計	7,233,158	7,129,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,260	30,583
繰延ヘッジ損益	△46,471	△100,302
為替換算調整勘定	△224,999	△191,034
その他の包括利益累計額合計	△222,210	△260,753
少数株主持分	107,327	103,378
純資産合計	7,118,275	6,972,024
負債純資産合計	18,860,853	20,238,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,774,603	3,806,727
売上原価	3,200,378	3,216,085
売上総利益	574,224	590,641
販売費及び一般管理費		
販売費	280,979	292,411
一般管理費	263,695	290,372
販売費及び一般管理費合計	544,675	582,784
営業利益	29,549	7,857
営業外収益		
受取利息	1,609	2,255
受取配当金	1,969	2,237
受取保険金	41	2,036
雑収入	2,806	1,182
営業外収益合計	6,427	7,712
営業外費用		
支払利息	29,643	32,515
為替差損	1,963	948
支払手数料	—	3,030
雑損失	0	0
営業外費用合計	31,606	36,494
経常利益又は経常損失(△)	4,370	△20,925
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,860
特別損失合計	—	2,860
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,370	△23,785
法人税、住民税及び事業税	30,149	5,157
法人税等調整額	△26,628	3,730
法人税等合計	3,520	8,888
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	849	△32,673
少数株主利益	1,182	△2,450
四半期純損失(△)	△333	△30,223

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	849	△32,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,960	△19,275
繰延ヘッジ損益	—	△53,831
為替換算調整勘定	13,156	33,965
その他の包括利益合計	17,117	△39,141
四半期包括利益	17,966	△71,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,404	△68,765
少数株主に係る四半期包括利益	1,562	△3,048

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,761,148	585,340	323,692	104,423	3,774,603	3,774,603
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	348	—	—	348	348
計	2,761,148	585,688	323,692	104,423	3,774,951	3,774,951
セグメント利益又はセグメント損失(△)	187,928	8,874	△32,331	56,866	221,338	221,338

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,338
セグメント間取引消去	7,416
全社費用(注)	△199,204
四半期連結損益計算書の営業利益	29,549

(注) 全社費用は、主に当社及び連結子会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,790,859	595,573	315,871	104,423	3,806,727	3,806,727
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	75	—	—	75	75
計	2,790,859	595,648	315,871	104,423	3,806,802	3,806,802
セグメント利益	124,457	19,148	1,095	66,785	211,486	211,486

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	211,486
セグメント間取引消去	7,416
全社費用(注)	△211,045
四半期連結損益計算書の営業利益	7,857

(注) 全社費用は、主に当社及び連結子会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。